

## 平成27年度 学校評価のアンケート結果について

姫路特別支援学校 学校評価委員会

学校評価の実施方法、実施結果は以下のとおりです。

- 1 調査期間 教職員：平成27年12月15日（火）～22日（火）  
保護者：平成28年1月8日（金）～15日（金）

## 2 調査用紙

調査用紙は、県教育委員会の学校評価マニュアルを参考に姫路特別支援学校評価委員会が自校の実態に応じて作成しました。評価内容は「学校運営」、「教育課程」、「課題教育」に係わる17項目を5段階（A：よくあてはまる、B：ややあてはまる、C：あまりあてはまらない、D：あてはまらない、E：わからない・判断できない）で評価する他、自由記述を加えました。

## 3 調査対象と調査用紙回収、集計

調査対象は分教室を含む全保護者及び対象教職員（事務職員及び介助員を除く）で、無記名、保護者のみ厳封で回収しました。それぞれの回収率は、保護者が83.2%（193名/232名）、教職員が97.4%（114名/117名）でした。

回収した回答用紙は学校評価委員会で開封。項目毎に保護者、教職員それぞれの評価を単純集計し、百分率に数値化することで比較考察しています。記述は、その他の記述を含め保護者12件、教職員8件、合計20件の意見を頂きました。これをKJ法で分類し、傾向を各項目の評価の参考にすることで、記述回答者のご意見を反映させることにしました。

## 4 学校評価の結果と分析

（下表。A～Eの評価記号が表しているのは次のとおりです）

A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない E：わからない・判断できない

評価項目	※表の数字は保護者、教職員毎の単純集計を百分率で数値化したもの	A	B	C	D	E	
1	学校は、オープンスクールや学校見学、参観日を適宜開催し、その取り組みを積極的に地域や保護者に公開している。	保護者	52.3	37.3	4.7	1.6	4.1
		教職員	48.2	50.9	0.9	0	0
2	学校は、ホームページ、学校だより、学年通信等を通じて精選した情報の発信に努めている。	保護者	43.0	45.1	5.2	1.0	5.7
		教職員	37.6	49.2	8.0	2.6	2.6
3	学校は、コーディネーターを配置して、地域の学校園には助言等の支援を行い、校内においては必要に応じて障害福祉課等の外部関係機関と連携した支援を行っている。	保護者	32.1	40.9	1.6	0	25.4
		教職員	43.0	49.1	2.6	0	5.3

評価項目	※表の数字は保護者、教職員毎の単純集計を百分率で数値化したもの		A	B	C	D	E
4	学校は、児童生徒の持てる力を高め、生活や学習上の困難をみずから改善するための指導を行っている。	保護者	49.7	40.9	6.7	0.5	2.1
		教職員	27.2	70.2	2.6	0	0
5	学校は、児童生徒の卒業後の自立と社会参加に向けて必要な力を身につけるよう、一人一人に応じた進路指導を行っている。また、進路の取り組みについて広報に努めている。	保護者	40.4	43.5	6.7	0	9.3
		教職員	32.5	63.2	2.6	0	1.8
6	学校は、児童生徒が楽しく通う場となるよう、学校全体を通した取り組みを進めている。	保護者	56.0	33.2	3.1	0	7.8
		教職員	35.1	50.9	9.6	0.9	3.5
7	学校は、児童生徒の障害理解を深めるとともに、実践的で専門的な指導力を高めるため系統的な研修会や講習会を行っている。	保護者	36.3	32.6	4.7	1.6	24.9
		教職員	28.1	61.4	7.9	0	2.6
8	学校は、心肺蘇生法、AEDの取り扱いに関する知識・技術を身につけるための研修を行うとともに、その実施について広報している。	保護者	47.2	38.9	2.6	1.6	9.8
		教職員	31.6	57.9	7.9	0.9	1.8
9	学校は、児童生徒の安否や所在確認、または気象警報等の緊急時への対応・体制を確立している。	保護者	57.5	36.8	2.6	0	3.1
		教職員	38.6	49.1	8.8	0	3.5
10	学校は、登下校・校外学習・避難訓練等で交通安全や防災意識を高める指導・訓練を行っている。また、その成果や課題を保護者に広報している。	保護者	47.7	43.5	3.6	0	5.2
		教職員	25.4	54.4	15.8	0.9	3.5
11	個別の教育支援計画は、担任と保護者の協働により、児童生徒一人一人の目標に基づいて作られている。	保護者	61.7	34.7	1.6	0.5	1.6
		教職員	44.7	48.3	7.0	0	0
12	教材・教具は、児童生徒が興味・関心をもって取り組める工夫がなされ、授業は個々の学習課題に即している。	保護者	47.2	37.3	8.3	0.5	6.7
		教職員	37.7	52.6	8.8	0	0.9
13	学校は、人権やプライバシーに関する研修をし、児童生徒に配慮した指導を行っている。	保護者	41.5	39.4	2.1	2.6	14.5
		教職員	19.3	56.1	19.3	0.9	4.4
14	学校は、各教科等のねらいの達成を明確にして、地域の小学校中学校、高校との交流及び共同学習を積極的に企画し、進めている。	保護者	39.4	39.9	6.7	0.5	13.5
		教職員	33.3	50.8	12.3	0	3.5
15	学校の給食は、食育に配慮したものであり、児童生徒の望ましい食生活の形成に役立っている。	保護者	40.9	37.8	1.0	2.6	17.6
		教職員	33.3	45.6	10.5	0.9	9.6
16	学校は、教育活動が円滑に展開できるよう施設や設備の充実に努めている。	保護者	27.5	40.9	15.5	4.1	11.9
		教職員	7.9	48.3	29.8	11.4	2.6
17	学校は、個人情報について教育効果を図りつつ適切な運用管理をしている。	保護者	40.9	38.9	3.6	2.1	14.5
		教職員	24.6	58.8	13.2	0	3.5